

2020年7月1日
株式会社会津コンピュータサイエンス研究所

AI 技術を活用した顔識別と検温の自動化 会津コンピュータサイエンス研究所、会津土建と建設現場での実証開始

AI 技術を活用した製品・サービスの研究開発に取り組む株式会社会津コンピュータサイエンス研究所(本社：福島県会津若松市、代表取締役所長：久田 雅之)はこの度、会津土建株式会社とAI 技術を活用した顔識別及び検温の自動化の建設現場における新たな実証試験を開始しましたのでお知らせいたします。



■会津コンピュータサイエンス研究所×会津土建株式会社 連携の目的

当社は、会津土建株式会社との連携実証を開始しました。

当社は、AI 技術の利活用を得意とし、電力分野を中心にその技術の活用を目指して研究開発に取り組んでいます。当社はこの度AI を活用した顔識別機能と赤外線カメラを使用した検温を同時に実施可能なタブレット端末を提供します。

会津土建株式会社は大正15年設立、これまで進化し続ける技術を常に取り入れながら、近年は特にIT・ICT 技術を建設現場に活かし、最適な品質を厳格なスケジュールリングでお客様に提供出来るよう業務に取り組んできました。今回、上記タブレット端末を建設現場にて使用する事で、従業員の出勤時、休憩時、退社時など細かな検温を自動化し、記録することで、新型コロナウイルス感染・発症時の早期発見・対策に役立てる為の実証試験を開始します。

また近年、建設現場における熱中症が大きな問題になっています。現時点で可能な限りの予防策をとっていますが熱中症を完全には防ぎきれない現状があります。今回の実証試験では、細かな検温が自動化されることで、体温の変動を記録でき、他のバイタルデータと組み合わせるなど、様々なビッグデータを分析・活用することで、熱中症を含めた健康管理、その他対策の検討が可能です。

当社では今後も社会の・人々の課題とニーズをいち早く捉え、最新の技術をもってその課題を解決に導くことを目指し、皆様のお役に立てる技術・知識の開発に全力で取り組んでいきたいと考えています。

■会津コンピュータサイエンス研究所とは

会津コンピュータサイエンス研究所は、「世にない新たな知識・技術を創出することで社会の役に立ち人々を幸せにすること」を会社理念に掲げ、AI とブロックチェーン技術を融合した製品・サービスの研究開発に取り組む会津大学発のベンチャー企業です。代表の久田雅之は、日本初のコンピュータサイエンスを専門とする会津大学の第一期生であり、同大学において初となる博士号を取得、2007年に株式会社会津ラボを起業し、IT・ICT・IoT の最新技術を活用した様々なプロジェクトを立ち上げてきました。日本初のブロックチェーンを活用した電力取引の実証試験や、福島県内初の公道における自動運転実証試験など、さまざまな分野において先進的な取り組み実績があります。

■会津土建株式会社とは

会津土建は大正 15 年創業、お客様に誠心誠意尽くすことにより、長いお付き合いをさせていただいております。お客様の望む品質には、多種多様な形があり、確かな目で常に最適な品質をお届けすることをモットーに、納期を厳格に守り、安全管理を十分に行いながらお客様の信頼を得てきました。工法から素材、IT・ICT 技術まで、常に進化し続ける様々な技術にもいち早く対応出来る体制を整えています。

■会社概要

名称 : 株式会社会津コンピュータサイエンス研究所
所在地 : 福島県会津若松市東栄町 1-77
代表者 : 代表取締役所長 久田 雅之
URL : <http://aizucsl.com/>



名称 : 会津土建株式会社
所在地 : 福島県会津若松市追手町 5-36
代表者 : 取締役社長 菅家 洋一
URL : <http://www.adoken.co.jp/>



【本件に関する取材のお問い合わせ】

株式会社会津コンピュータサイエンス研究所

代表 久田

TEL : 0242-93-8380

FAX : 0242-93-8381

Mail : info@aizucsl.com